

明石工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語表現概論
科目基礎情報					
科目番号	0031	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科(情報工学コース)	対象学年	5		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	テキストは使用しない。適宜、プリントを配付する。				
担当教員	善塔 正志				
到達目標					
(1) 実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 (2) 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。 (3) 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	問い合わせ・依頼の手紙・メールを効果的に作成できる。	文書・メールの、項目・構成・レイアウトを適切に示すことができる。	手紙・メールのレイアウトに難がある。		
評価項目2	PR文書・レジメ・論文の材料選択が適切である。	PR文書・レジメ・論文に材料を示すことができる。	PR文書・レジメ・論文の材料に不足がある。		
評価項目3	提案書・報告書・論文の構成・展開が適切・効果的である。	提案書・報告書・論文に構成・展開が見られる。	提案書・報告書・論文の構成・展開に難がある。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (E)					
教育方法等					
概要	エントリーシート・履歴書・レポート・論文など、目的の異なる様々な文章(文書)表現について、それぞれの特徴や注意点を概説する。各自、材料を事前に準備し、制限時間内で適切に書く練習を行い、明らかになった問題点を克服し、豊かで正しい表現力を獲得することを目的とする。				
授業の進め方と授業内容・方法	履歴書・PR文書・提案書・報告書・論文の基本的な作成方法・例示の講義と、その習熟・理解度を確認する設問に対する解答を授業内・授業外に作成・提出させ、評価する。				
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1週	オリエンテーション 1 授業の概要 2 テーマ・意図・構成・推敲について	文書作成に際して、箇条書き・符号・見出し・数値を用いて、適切にレイアウトできる。		
	2週	履歴書・エントリーシート 1 テーマ部の書き方・自己PR部の書き方・材料収集・効果的表現(記号・構成など) 2 テーマ・事例の検討	各人の進路希望に沿った履歴書・エントリーシートを効果的に作成できる。		
	3週	志望理由書・研究計画書 1 志望理由書について 2 研究計画書について	各人の希望進路に応じた志望理由と研究(キャリア)計画を適切な形式で効果的に作成できる。		
	4週	小論文1 1 テーマ:地域貢献・インターンシップ・環境 2 材料収集・構成	各テーマに応じ、適切な材料を用いて、論理的・効果的に小論文を作成することができる。		
	5週	小論文2 1 テーマ:経済・科学技術 2 材料収集・構成	各テーマに応じ、適切な材料を用いて、論理的・効果的に小論文を作成することができる。		
	6週	報告書・レポート1 1 別記書き 2 図表・レイアウト	別記書きの形式で図表を効果的に使い、レイアウトに優れた報告書・レジメを作成することができる。		
	7週	テーマ別問題点の整理1 1 内容面の問題点 2 表現面の問題点	テーマ設定・材料選択・表現技術に優れた各種文書の作成ができる。		
	8週	中間試験			
	9週	テーマ別問題点の整理2 1 テーマの背景 2 問題の進展性	テーマ・問題を有効に設定し、論文の序章を適切に作成できる。		
	10週	報告書・レポート2 1 企画書・提案書 2 プレゼンテーション	企画書・提案書のレジメ・スライドを作成できる。効果的にプレゼンテーションできる。		
	11週	研究テーマと問題設定 1 テーマ・問題の設定 2 自己分析	テーマを適切に設定し、有効な材料を用いて、文書を構成・展開できる。		
	12週	論文1 1 計画書 2 構成	説得力のある計画書を作成できる。論文全体の構成表を作成できる。		
	13週	論文2 1 表記上の注意 2 文献表	注記・引用・文献表を適切に書くことができる。		
	14週	論文3 1 調査・研究・意義 2 中間報告・審査会・質疑応答	研究方法を明瞭に示し、研究成果の見通しを示すことができる。中間発表・卒業研究発表までの明確な計画表を作成できる。		

	15週	課題と整理 1 問題点の課題と整理 2 まとめ	自身の研究計画を見直し、適切に改善できる。
	16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前9,前11,前13,前14
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前2,前6,前12
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前4,前5,前10
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前1,前3,前7,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0